



J.Uruno

1

■中央のディスク部分にはOZ RacingとTGR-WRTのロゴが入る。ホイールナットはトヨタ車の純正部品と同じ平座形状となっている点も、ユーザーにとってはうれしいところだ。■ラリージャパンでOカーを務めたトヨタGRヤリスは、スーパーリズモTGR-WRTを装着。デザイン性の高さからファンの注目を集めた。

2



J.Uruno

「クルマのホイールを交換することは一種のパーソナライゼーションであり、モータースポーツやラリーへの熱意を示すものです。トップドライバーがラリーで使用しているものに近いデザインの製品を装着することで、他の誰とも違う特別感を示せます。このことは日常的にクルマを使うユーザーにとって、非常にエキサイティングです」と、ファウラーはまとめています。

約1年の歳月をかけ、世界王者とともに作り上げた「ラリーレーシングTGR・WRT」。また、26年からTGR・WRTが使用するレッキカーの一部に、スーパーリズモTGR・WRTが装着されるといいます。これは両社の信頼関係の証と言えるだろう。モータースポーツを愛するすべての人に、そして最高の品質を求めるドライバーに。OZレーシングとTGR・WRTからの熱いメッセージが、この一本に凝縮されている。



Rally Racing TGR-WRT サイズ表

サイズ		H-PCD	IS	ハブ	カラー	ボルト/ナット	主な装着車種	価格(税込/1本)
17	7	4-100	45	54.06	MDG/RW	OZ	ヤリス、ヴィッツGR SPORT、ライズ	6万8200円
			38	60.06	MDG/MB	純正	C-HR、カローラクロス、ヤリスクロス、RAV4	6万8200円
		5-114.3	45	60.06	MDG/MB	純正	カローラクロス、ヤリスクロス、プリウス(60)、ヴォクシー(90)	6万8200円
18	7.5	5-114.3	45	60.06	MDG/MB	純正	C-HR、プリウス(60)、カローラクロス、GRヤリスRC(17インチ)	8万2500円
	8	5-100	45	S	MB	OZ	GR86(4Pブレンボ)、86(4Pブレンボ、GR 6Pφ345装着可)、プリウス(50)	8万3600円
			35	60.06	MDG/RW/MB	純正	GRヤリスRZ/RZハイパフォーマンス/RC(18インチ)/RS、クラウンクロスオーバー	8万3600円
		5-114.3	45	60.06	MDG/RW/MB	純正	GRヤリスRZ/RZハイパフォーマンス/RC(18インチ)/RS、プリウス(60)	8万3600円
			5-120	45	60.06	MDG/MB	OZ	アルファード(H4#)、ヴェルファイア(H4#)
19	8	5-114.3	45	60.06	MDG	純正	GRヤリスRZ/RZハイパフォーマンス/RC(18インチ)/RS、クラウンクロスオーバー	9万6800円
	8.5	5-114.3	38	60.06	MDG	純正	GRヤリスRZ/RZハイパフォーマンス/RC(18インチ)/RS、アルファード(H3#)、RAV4	9万7900円
			45	60.06	MDG	純正	GRヤリスRZ/RZハイパフォーマンス/RC(18インチ)/RS、アルファード(H3#)	9万7900円

※カラー:RW/レースホワイト、MDG/マットダークグラファイト、MB/マットブラック

OZレーシングの最新情報はコチラ

<https://www.ozracing.com/jp/>



カラーリングは3種類をラインナップ



レースホワイト



マットダークグラファイト



マットブラック

速度制限があるとはいえ、ラリー本番で使う道を実際に走行するレッキカー。そのホイールが過酷な使われ方をするのは想像に難くない。そうした現場で性能を試したいというTGR・WRT側の要望は、このプロジェクトが単なる「名義貸し」ではなく、製品の性能と品質を厳しく見極めるという、世界王者としての妥協なき姿勢の表れだろう。ファウラーは言う。

「レッキはラリーにとって非常に重要です。仮にトラブルが出てスケジュールに狂いが生じると、ベースノートの作成・理解が困難になります。ですから、レッキの善し悪しは本番でのパフォーマンスに直結します。ホイールはもちろん、クルマの高い信頼性と耐久性は、彼らにとって非常に重要です」

チームにホイールを送ってから数カ月間にわたるテスト期間を経て、正式にOKの返事がフィンランドからもたらされた。実際のデザインにあたっては、両社のロゴをホイールに合わせてラウンドさせる必要があった。この合わせ

詰め込まれた数々のこだわり

このホイールの魅力は、その背景やデザインだけではない。ユーザーが実際に使用する際の利便性や満足度を徹底的に追求したこだわりが詰め込まれている。最大の特徴が、純正ナット対応。と、ハブ専用設計だ。

「サイズ表を見ていただければ分かりますが、今回のホイールはトヨタの純正ナットがそのまま使えます。ユーザーの皆さんにとっては、これも魅力の



T.Hasegawa

サービスパークの置かれた豊田スタジアムではOZ Racingのブースを展開。Rally Racing TGR-WRTはチューニングカーファンからも大きな注目を集めた。

Rally Racing TGR-WRT 誕生秘話

OZ RacingとTGR-WRTのコラボ第3弾が登場

長年にわたってモータースポーツの第一線で活躍するOZ Racingと世界最強のラリーチームであり続けるTGR-WRTともに世界のレベルを知る両社がタッグを組み送り出すホイールとは

Text/RALLY PLUS Photos/Jun Uruno, Takuji Hasegawa

世界王者とトップの姿勢の表れ

WRC第13戦ラリージャパン2025のサービスパークで、多くのラリーファンの視線を釘付けにしていた新作ホイール、「ラリーレーシングTGR・WRT」。イタリアの名門ホイールメーカーOZレーシングと、TGR・WRTによるコラボレーションモデルの第3弾だ。

OZジャパンの内山晶弘代表、そしてTGR・WRTのテクニカルディレクターであるトム・ファウラーのやりとりから、その開発秘話と製品に込められた熱い想いに迫る。

このプロジェクトの構想が動き出したのは、約1年前にまで遡る。「第3弾の計画について相談をしたところ、チームから『まず、レッキカー



T.Hasegawa

TGR-WRTのテクニカルディレクターを務めるファウラーと、OZジャパンの内山晶弘代表。今後のコラボにも期待がかかる。